

令和6年度独立行政法人自動車技術総合機構調達等合理化計画自己評価資料

重点的に取り組む分野

内容	評価	
(1) 審査上屋等における改修等工事に関する調達 令和5年度については、一者応札割合は前年度とほぼ同程度であったため、引き続き公告期間や工期の十分な確保を行い、更に仕様書を配布した事業者に入札に参加しなかった要因を探るために実施しているアンケートの取り組みを強化することと致します。 また、仕様書内容を具体的かつ詳細に明示するなど不断の見直しに努めることとし、入札参加要件の拡大、事業者への積極的な案内を図り、一者応札割合の改善に取り組むことと致します。 評価指標【競争契約に占める一者応札割合】	一者応札件数 競争入札全体に占める割合	令和5年度 29件 (35.8%) 令和6年度 27件 (38.0%) →令和6年度については、前年度に対して一者応札割合はほぼ同程度となっている。 令和6年度においても、入札情報を機構のホームページの他、業界誌への掲載を行う等の周知を徹底するとともに、公告期間についても当機構の規定する期間より多くの期間を確保することで、透明性、競争性の確保に努めたが、令和5年度と比較して、取引事業者が少数である東北検査部の契約件数が増加したこと等に伴い1者応札割合が増えたためです。 引き続き適切に調達を実施すべく、業界誌への入札情報掲載等、入札情報の周知徹底を図っていくとともに、アンケート等により、更なる要因分析を行い対応について検討してまいります。
(2) 共同調達・一括調達の拡大 令和5年度については、交通安全環境研究所に隣接する研究機関と共同して、前年度に引き続き、コピー用紙の購入や電気設備の保守業務に関する調達等に加え、新型コロナウイルス感染症により中止していた研究施設一般公開に係る調達を再開し、事務処理の効率化を図った。さらに、令和5年度より独立行政法人国際観光振興機構と機構本部においてコピー用紙購入の共同調達を開始している。 令和6年度においても、引き続き共同調達を実施するとともに、他の契約についても共同調達の拡大を検討する。 また、業務の効率化・スケールメリットが見込	共同調達件数 共同調達金額	令和5年度 5件 449.8万円 令和6年度 5件 477.4万円 →隣接する他の研究機関と交通安全環境研究所において、昨年度に引き続き共同調達を実施。さらに、令和5年度から開始した独立行政法人国際観光振興機構と自動車技術総合機構本部におけるコピー用紙購入の共同調達を引き続き実施した。 なお、令和7年度からは独立行政法人国際観光振興機構と自動車技術総合機構本部における名刺の印刷の共同調達を開始している。

まれる案件については、自動車技術総合機構全体を対象とした一括調達を進めており、検査機器の消耗品購入等、令和5年度においては52件を本部にて一括調達を実施しているが、引き続き拡大を検討していく。

評価指標 【共同調達及び一括調達(本部実施分)の実施件数】

	一括調達件数	一括調達金額
--	--------	--------

令和5年度	52 件	28.1 億円
-------	------	---------

令和6年度	55 件	37.9 億円
-------	------	---------

→一括調達による手続きの効率化、コスト削減等が見込まれる案件について、昨年度に引き続き一括調達を実施。

なお、令和5年度と比較して件数が増加している主な要因は、大型マルチテストの改修等の新規調達21件があった一方で自動方式総合検査用機械器具オートライト対応改造等の令和5年度限りの調達が18件あったため、3件増加したものです。

また、令和5年度と比較して金額が増加している主な要因は、自動車検査用機械器具の製造及び据付における契約額の増加（令和5年度比＋約6.7億）等によるものである。

令和7年度においても、共同調達の拡大に努めるとともに機構本部と交通安全環境研究所の一括調達の更なる推進を検討していく。